

No.1817

第1818回例会

2018年8月10日(金) 12:30~13:30

点鐘

ロータリーソング “我等の生業”

会食 (和食)

会長会務

* ビジター・ゲスト紹介。

第1グループガバナー補佐 嶋田耕一氏
// 随員 吉田友和氏

米山奨学生 許 作如さん

* 本日は嶋田ガバナー補佐をお迎えしています。
例会に先立ち、クラブ協議会にて当クラブの運営についてご報告をさせていただきました。

* 7月より皆様方に似顔絵を私よりプレゼントさせていただきます。

似顔絵の顔は描き易い顔とそうでない顔があります。描きにくい顔は、まずメガネをかけている人ですが、約20名の方がメガネをかけておられますので少し苦労しました。

あと注意するのは、顔の骨格と全体の雰囲気です。あまり書き込んでしまうと逆に全く似なくなる場合もあります。大切なのは描く前にその人のイメージが頭の中にぼぼ浮かんでくると割合早く描けます。描いていて思うのは実にいろいろな顔があって、顔にはやはりその人の“人生”みたいなものが出ているのだなと感じます。

* 8月の誕生祝いを差上げます。

伊木恭憲 上野賢治 金田卓也 竹内一昭
土江富夫 葉狩弘一 矢谷英志の各会員

バースデイソング斉唱

幹事報告

* 理事会報告。

* 例会後、クラブ奉仕委員長会議を開きます。

委員会報告

* 親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

* その他

卓話 嶋田耕一第1グループガバナー補佐

先週(第1817回例会)の記録

2018年8月3日(金) 12:30~13:30

会長会務

* 本日の卓話をお願いしている、鳥取市中央人権福祉センターの小出真一さんと村田寿文さんです。

* 上野賢治会員へ池上パストガバナーよりのバナーをお渡しします。

* 連日、日本全国記録的なすさまじい暑さが続いています。皆さん体調はいかがですか？

夏の夜には気分を変えて星空を見上げて涼を求めるのもひとつの暑さ対策です。

7月31日は火星大接近でしたが見られた方もあると思います。

子どもの頃に戻った気持ちで、火星や宇宙人のことなど思い描いて夜空を見るのも楽しいことではないでしょうか。

幹事報告

* ロータリー財団へ寄付された方に確定申告領収書が届いています。

* 次週8月10日は嶋田ガバナー補佐を迎えてのクラブ協議会です。各委員長ほか、ご出席をお願いします。11時~はまなすの間

* 先々週より西日本豪雨災害義援金を募っています。受付にBOXを置いていますのでよろしくをお願いします。

* 配布物…ロータリーの友8月号、ガバナー月信NO.2、前年度ガバナー月信NO.13、会員名簿

出席率

8月3日 会員数54名 欠席7名 86.79%

7月20日 メーキャップ 2名 81.13%

メーキャップ会員

8月2日 平野敏和会員 倉吉東RCへ

スマイル

* 木原一志会員/①鳥取市よりおいでの小出様、本日はありがとうございます。宜しくお願いし

ます。②先日の夜間例会にご参加の皆様、お疲れ様でした。瀧本委員長をはじめ、親睦・出席委員会の皆様には大変お世話になりました。楽しい納涼例会でした。

- *坂本 直会員／小出様、本日の卓話どうぞよろしく願いいたします。
- *小林 一会員／小出様、本日の卓話、お世話になります。
- *岡本安量会員／吉田さん、山下卓治さん、先日はお世話になりました。良い1日になりました。
- *児島 良会員／倭島さん、ありがとうございます。またよろしく願いします。
- *瀧本浩志会員／7月27日納涼例会、皆様ありがとうございました。親睦・出席委員会の皆様、お疲れ様でございました。
- *大野憲一会員／納涼祭、皆さんのお陰で大成功でした。ありがとうございます。内山さん、お疲れ様でした。
- *牧浦康寛会員／岩崎さん、先日の会員増強委員会、お世話になりました。
- *上野賢治会員／8月22日で45才になります。よろしく願いします。(誕生日)
- *田中好洋会員／ゴルフ優勝。
- *早退4件 合計20,000円

ゴルフスマイル

- *田中好洋会員／久しぶりの優勝です。倭島さん、ありがとうございました。

雑誌委員会 太田匡彦委員長

ロータリーの友8月号紹介。

- *特集「会員増強・新クラブの結成推進月間」会員増強に成功する10のヒントの紹介
- *「変化をチャンスに」経営改革に取り組む10のチャレンジポイント

ゴルフ同好会 田中好洋幹事

7月22日コンペ成績 優勝 田中好洋会員
8月に総会を開きます。9月に第1回木原会長杯を開催します。



卓話「鳥取市の子ども食堂」

鳥取市中央人権福祉センター 小出真一氏

- *「子ども食堂」の輪を広げよう！食材の提供など多くの市民の方から協力をいただいています。

す。

- *「子ども食堂」は平成27年12月にスタート。28年3月に4箇所、30年7月現在17箇所となり、すべて民間団体です。



- *ひとりで食べるよりもみんなで食べた方がいい。

話し相手がいるとなんだか楽しい。「子ども食堂」は、子どもがほっとできる居場所です。

- *「子ども食堂」で、ありのままの自分を迎えてくれる人や信頼のできる人に出会ったとき、子どもの人生は変わっていきます。それは今すぐだけでなく10年後、20年後にも変わっていく。「子ども食堂」はそのきっかけの場所です。
- *子ども食堂「鳥取市モデル」「居場所」「食の提供」「学習支援」「多様な人々との関わり」の場所。
 - ・支援する関係機関・団体等のネットワークづくり
 - ・子どものための世帯全体への包括的支援。
 - ・地域で子どもを守り育てる環境づくりで地域力の向上を目指す。

- *「子ども食堂」を連携する「地域食堂ネットワーク」を設立。運営団体、支援団体、行政の一致連携した取り組みを展開し、立ち上げ支援、継続的・安定的な運営の支援を行う。

- *子ども食堂を核とした「地域食堂」で地域共生社会をめざす。

子どもだけでなく、高齢者を始め様々な世代や身障者などすべての市民を対象とする。地域食堂は「だれでも食堂」

- *「地域食堂」ネットワークを地域づくりの場所へ。

多角的な社会的居場所を展開するためのネットワークの構築。「支える、支えられる」という一方的な関係でなく、「相互に支え合う」地域の構築

- *支援の広がりから地域づくりへ

個人・事業主・宗教団体・商工団体・生協・社会福祉法人

- ・地域づくり協議会・社会福祉団体・株式会社など「各々できること」で支援の輪は広がっている。

次回例会予定

2018年8月24日(金)第1819回例会

卓話「タイムによる国際交流活動」

鳥取大学地域学部 教授 ケイツ・キップ氏

(編集者 児島 良)